

東京開業ワンストップセンターは、会社設立に必要な各種手続きにワンストップで対応する相談窓口です。国と東京都が共同で運営し、赤坂のほか渋谷・丸の内にもサテライトセンターを設けています。今回は、大学院在学中に始めた添乗業務がきっかけとなり、チェコ、オーストリア、そして日本の旅行会社勤務を経て、自ら旅行会社を設立するに至った杉江真理子さんにお話を伺いました。

利用者 リレーインタビュー ……………



経験を活かし、ドイツ語圏の人々の目線で 新しい日本の旅を提案できるのではないかな

院生時代に、国内だけでなくドイツや東欧を周る日本人向けの企画ツアーの添乗をよくしていました。そのときにできた人脈もあって、大学院修了後お誘いを受け、プラハの現地旅行会社に入社しました。その後、ウィーンへ移り、結局約5年間ヨーロッパに滞在しました。

帰国したのは2007年です。日本の旅行会社に勤めることになったのですが、ここ数年のインバウンドの急増に刺激され、独立志向が芽生えていきました。プラハ、ウィーンで任されていた顧客対応や旅行手配などの経験、現地での生活感覚、また人脈を活かして、日本に外国人旅行者、とくにドイツ語圏の旅行者を呼び込めるのではないかと、この想いを強くしていったのです。

というのも、ドイツ人は世界の中でも外国旅行好きで有名な人々たちなのですが、日本を訪れる人はまだまだ少ないんですね。言い換えれば、今後需要が見込めるマーケットでもある。私ならドイツ語圏の人々の目線で新しい日本の旅を提案できるのではないかと、そう考えたのです。

BtoBでビジネスを展開していくには 信用度の面などやはり法人化が必要と感じました

独立にあたっては周囲のさまざまな方に相談しました。結局、元上司などの勧めもあって独立を決意、個人事業主としてスタートしました。2017年のことです。

起業にあたってネットで検索していくうちにTOKYO創業ステーションの存在を知り、事業計画の立て方や資金調達の方法などさまざまな相談をさせていただきました。そこで知ったのが、東京開業ワンストップセンターでした。



合同会社かぐやライゼビューロー 代表社員 杉江真理子 さん

プロフィール／大学院在学中に総合旅程管理主任者および総合旅行業務取扱管理者資格を取得し、派遣として旅行会社の添乗業務を始める。日本国内をはじめ世界各地を添乗し、大学院単位満了後誘いを受け、プラハとウィーンで現地旅行会社に約5年間勤務。2007年に帰国し都内の旅行会社に勤めた後、2017年に独立。2019年7月「合同会社かぐやライゼビューロー」を設立し、代表社員を務める。

主にドイツ語圏からのインバウンドをターゲットに日本国内のオーダーメイドな旅行の企画・販売、旅行に必要な各種手続きなどを業務としていましたが、思うように企画が立案できないこともあり。BtoBでビジネスを展開していくためには信用度の面などやはり法人化が必要と感じ、ワンストップセンターを訪れることにしました。

ワンストップセンターのおかげで手続きはスムーズ。 専門家の具体的なアドバイスに助けられました

法人化の手続きについては、事前に自分でいろいろとネットで調べていたのですが、いざ実際に書類を作成すると、この場合はどう書いたほうがいいのか、よく理解できなかったり迷うことも少なくありません。定款一つとっても将来を見越したより有効な記述の仕方など素人ではわかりにくいことだらけでした。

しかし、ワンストップセンターの場合、それぞれの専門家が丁寧にわかりやすく、具体的なアドバイスをしてくださるのでとても助かりました。手続き上、困ったことはありませんでした。電子定款を助めていただき、費用も抑えることができました。起業し、会社を設立したい人にとって、こんなに役立つ窓口はないと思います。



Point! 私からのワンポイントアドバイス

会社を法人化する手続きは煩雑でハードルが高い、と思いがちです。実際、素人が自力でやろうと思ったら大変でしょうが、東京開業ワンストップセンターの手をお借りすればじつにスムーズです。まずはご相談されることをおすすめします。

相談体験会を随時開催しています。参加者募集中！ **誰でも無料でご利用いただけます！**

【東京開業ワンストップセンター】

住所：東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル 日本貿易振興機構(ジェトロ)本部7階

電話：03-3582-8352 FAX：03-5561-4123

URL：<http://www.senryaku.metro.tokyo.jp/onestop/japanese/top/>